

市立保育園・幼稚園のあり方に関する決議

仙北市の保育園・幼稚園においては、これまで待機児童問題をはじめとし、若い世代の臨時職員の多さや、正職員の高齢化、職員間の待遇格差、施設老朽化、財政的課題、経営体制の二重構造、幼保の需要の偏り等、多くの課題が山積している。

こうした課題を速やかに解決し、より良質な保育・教育の環境整備は、喫緊の課題である。

よって、仙北市議会は、子どもたちや保護者が更に安心して利用できる保育・教育体制を確立するために、仙北市に対し、次の事項の取り組みを求める。

1、臨時職員比率、施設老朽化、経営形態の違いなどに対する事項

臨時職員比率の多さ・施設老朽化対策・経営形態の二重構造・幼保の需要の偏りに対し、その解決策として、市内保育園・幼稚園の経営を社会福祉法人等による「民設民営型の法人運営」に移行すること。

2、民設民営型の法人運営に移行する場合の絶対的条件

- (1)子どもに対する最善の利益を優先し、求められる「質」の低下はあってはならないこと。
- (2)保育園・幼稚園の公共性を維持すること。
- (3)十分な説明と意見の聴取を行うこと。
- (4)子ども、保護者の負担を最小限にする努力を惜しまないこと。
- (5)法人化後の市の責務を明確にし、その責任の所在を明らかにすること。

3、待機児童等の課題に対する事項

- (1)待機児童解消の受け皿となっている市内子育てボランティア団体に対する支援を拡充すること。
- (2)「仙北市保育園入所待機児童等支援事業費補助金」を利用者がより使いやすい制度とするよう創意工夫すること。
- (3)「仙北市在宅子育てサポート事業」の実施にあたり、随時、利用者のニーズを把握しながら柔軟な対応を図ること。
- (4)待機児童ゼロを維持する努力を維持すること。

仙北市は、市民福祉常任委員会の「市内保育園・幼稚園の在り方についての提言」内容について、最大限尊重したうえで、速やかに課題解決に向け、取り組むことを強く求める。

以上、決議する

平成 25 年 12 月 20 日
仙北市議会

市区町村議会議員 総務大臣感謝状贈呈

佐藤峯男 議員



10月30日東京千代田区平河町「ルポール麹町」にて総務大臣より贈呈された。

秋田県自治功労者表彰

高久昭二 議員



11月1日秋田県正庁にて受賞された。

仙北市第1回子ども議会 市当局に鋭く質問

仙北市の12の小中学校から24人の小中学生による初の子ども議会が1月9日に開かれた。議員たちは傍聴席で子ども議員たちの鋭い質問に熱心に聞き入ったりメモをとっていた。この子どもたちの中から将来政治に関心を持つ人材が出て欲しい。

(狐崎捷環記)



人事案件

人権擁護委員全会一致で承認

伊東 和子 氏 (西木町榎木内字相内 13-1)

言語道断

今定例会は最終日に会期を延長、異例の運びとなった。12月2日、市政報告で市長から田沢財産区委員の任期を「失念した」との報告があったからである。

これに対し12月20日に「失念した」とは言語道断である。検証し再発防止策を講じ、必要に応じ処分を行い、改めて提案すべきとの申し入れが(議員9名)議長になされた。9月議会に選任すべき人事が議会の同意なくすめられ更に数ヶ月もたってから提案されたが、これだけの失態について責任の所在、処分が不明確であった。

行政にしても、もちろんその時点で緊急な様々な課題があることは推測される。

市民の方々から税金をあらかじめ託された行政遂行には常に予算が生じる。

プロである行政マンは、今一度公金を預かり市民に奉仕する立場であることを認識し慢心することなく職務に精励することを望むものである。

(八柳良太郎記)

